

## 自学自習の奨め

某進学校、公立A校のお話です。A校では、塾・予備校（以下「予備校」という。）に行かないように指導しています。私学の多くは予備校に行かないように指導しているわけではありませんが、大変な量の宿題を出しますので、結果として、私学の生徒は予備校に行かないことが多い。まあ、私学の保護者としても、高い授業料を払って、さらに予備校というわけにはいきませんので、「予備校に行く必要のない指導」を私学に求めるわけですが、この「予備校に行く必要のない指導」という考え方に、そもそもの誤解があります。

実際は高校の指導がどうあれ、予備校に行く必要はありません。何故か？1日は24時間しかないからです。学校に1日いて、さらに予備校に行けば、自学自習の時間が残りません。自学自習がなければ力はつきません。だから、高校の指導がどうあれ、予備校に行く必要はないわけです。

しかし、これがなかなか信じてもらえない。ならば、予備校に行きたくても行けないようにすればよい。A校はそう考えたのだと推察します。

A校では、予習・復習を前提とした授業が実施され、大量の宿題が出されます。1日は24時間しかありませんので、これでは予備校に行きたくとも行く時間は残りません。A校入学後、予備校に行かずに自学自習に励む日々を続けた生徒は、すぐに納得します。「自学自習」の力を身に染みて実感するのだと思います。

子曰、「学而不思則罔。思而不学則殆。」

子曰はく、「学びて思はざれば則ち罔(くら)し。思ひて学ばざれば則ち殆(あや)ふし。」と。

先生が言われた。「学ぶだけで考えなければ本当の理解には到達しない。それとは逆に、考えるだけで学ばなければ独断に陥る危険がある。」と。

論語（中国の思想家孔子が述べたものを弟子たちがまとめたもの）の一節です。「学ぶ」とは、「人から教わること。誰かに教えてもらうこと。」です。「思う」とは、「自力で考えること。」です。この「学」と「思」のバランスを適正にしなければ、力はつかないということです。

部活動がなくとも、本校の1・2年生は8時30分過ぎから16時近くまで学校にいます。約**7時間30分**です。通学時間は往復**90分**とします。学校での学びは、「学」です。授業は「学」です。授業の中の「思う（思考する）」活動を増やしていくのが本校の方針ですが、基本的に授業は「学」であって、「思(考)」ではない。

学校が終わって、毎日、予備校に行ったとします。予備校への往復を**90分**とします。予備校での「学び」も**90分**とします。この90分の学びも「学」であって、「思(考)」ではない。朝食・夕食・入浴・その他で**2時間**とします。**7時間**～9時間は寝てほしい。寝なければ成果は上がりません。ゴシック太字の時間を足してみます。21時間です。1日は24時間です。残りは3時間。部活動をやれば、残りは0時間です。部活動をやらずに「思考」しますか。部活動はやった方がいい。部活動は、「GRIT（やり抜く力）」を鍛えます。しかし、このままでは、「思考する」時間がない。したがって、力はつかない。

予備校に行かなければ、90+90で、3時間の思考時間が生まれます。「学」と「思(考)」の適正なバランスにより力をつけていくためには、「自学自習」が必要です。高校生の学習時間についての全国調査によれば、神奈川の高校生の自学自習時間は全国でワースト4位です。この自学自習時間に予備校での学習時間を足した合計時間のデータもあり、こちらでは神奈川はトップクラスです。つまり、神奈川の高校生の「学び」は「学」ばかりで「思(考)」がない。バランスが悪い。つまり、「力がつかない」ということになります。

1・2年生の皆さん。自学自習、家庭学習の習慣をつけましょう。高校3年の1年間が「学」のみになってしまったりは、つまりは、予備校漬けになってしまったりは、成果は上がりません。かく言う私が、予備校漬けでした。高1、高2と「原級留置→留年又は退学」寸前だった私は、高3の1年間、「学（予備校）」に逃げました。「急がば回れ」で、基礎から時間をかけてやり直せば、高3の1年間でどれだけ伸びることができたでしょう。何しろ、伸び代だらけだったわけですから。（笑）高1・高2の2年間、「学」も「思(考)」もなかった私は、高3の1年間、予備校の「学」に逃げることにしかできなかった。そして、惨憺たる結果となったわけです。

だから、1・2年生の皆さん。自学自習、家庭学習の習慣をつけましょう。さすれば、「凄い事」が起きます。みんなで、「凄い事」を起こしましょう。

.....

3年生の皆さん、「能力伸長」の2年間で信じて、大らかな気持ちで、勉強してください。第一志望校の出題傾向（競技規則）を意識できない状態のまま、筋力（偏差値）アップに終始するのは、筋力（偏差値）の無駄遣いです。第一志望校の出題傾向がインプットできていない人は、早くインプットしてください。競技規則（出題傾向）をよく理解して、筋力（偏差値）をアップし、筋力（偏差値）を技術化（点数化）してください。【大丈夫、自分を信じて、必ずうまく行く。】